



大阪・関西万博を契機とした「未来社会」の実現に向けて

(大阪版万博アクションプラン振り返り)

大阪府・大阪市

2026年2月

《目次》

I 大阪版万博アクションプラン振り返りにあたって

II 取組の成果・到達点と今後の課題・方向性について

1 健康・医療

- ① ライフサイエンス
- ② 次世代ヘルスケア

2 モビリティ

- ① 空飛ぶクルマ
- ② 自動運転
- ③ MaaS(マース)
- ④ ゼロエミッションモビリティ

3 環境

- ① カーボンニュートラル(最先端技術の開発・実用化)
- ② カーボンニュートラル(事業者や府民の行動変容)
- ③ 大阪ブルー・オーシャン・ビジョン
- ④ 大阪湾MOBAリンク構想

4 スマートシティ・スタートアップ

- ① スマートシティ
- ② スタートアップ(ビジネス交流含む)

5 観光・文化・おもてなし

- ① 多様な都市魅力の創出・発信
- ② 移動の利便性
 - ・水上交通ネットワーク
 - ・空港運用の強化
 - ・ライドシェア
 - ・UDタクシーの普及
- ③ おもてなし

6 学び・共生

- ① 学び
- ② 共生

7 万博運営

- ① TDM
- ② 危機管理体制
- ③ 感染症対策の強化・衛生対策の実施
- ④ 中小企業参画促進
- ⑤ 物流交通対策

1. 万博レガシーの継承と未来の成長、飛躍に向けて

大阪・関西万博は2025年10月13日に閉幕し、期間中に2,900万人を超える来場者を迎え、大きな成功を収めた。万博では「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、来場者に最先端技術や世界の多様な文化、持続可能な社会の取組を体験できる貴重な機会を提供した。また、万博を通じて築かれた国際的なネットワークと地域の連携は、今後の成長と発展への道筋を示す重要な基盤となった。こうした万博レガシーを一過性のものとせず、大阪・関西の持続的な発展につなげていく必要がある。

2. 大阪版万博アクションプランの振り返りと今後の道筋

大阪府・大阪市では、万博の成功とそのポテンシャルを活かした持続的な成長を確かなものとするため、2022年5月に「大阪・関西万博を契機とした『未来社会』の実現に向けて(大阪版万博アクションプラン)」を策定し、4回にわたりプランを改訂し、各項目の施策化を重点的に進めてきた。今回の振り返りでは、当初のプランで示した施策に加え、万博で取り組まれた新たな事業も盛り込み、持続的な発展に向けた課題や方向性、持続可能な未来社会の実現に向けた具体的な道筋を提示する。